

デロイト トーマツ ディープスクエア株式会社

貸 借 対 照 表

2026年5月31日 現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	70,501	流動負債	31,367
現金及び預金	55,085	未払金	5,345
売掛金	15,085	未払費用	3,984
貸倒引当金	△86	未払法人税等	13,630
その他	416	未払消費税等	7,100
		預り金	1,306
固定資産	3,233	固定負債	4,500
有形固定資産	1,897	長期借入金	4,500
工具器具備品	1,897		
		負 債 合 計	35,867
		純 資 産 の 部	
投資その他の資産	1,336	株主資本	37,868
差入保証金	1,300	資本金	11,500
長期前払費用	36	資本剰余金	1,500
		資本準備金	1,500
		利益剰余金	24,868
		その他利益剰余金	24,868
		繰越利益剰余金	24,868
		純 資 産 合 計	37,868
資 産 合 計	73,735	負債及び純資産合計	73,735

(注1)：千円未満は切捨てにより作成しています。

(注2)：当期純利益 29,627 千円

個別注記表

自 2025年6月1日

至 2026年5月31日

I 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・・・ 工具器具備品については、定率法（法人税法の規定）を採用しています。

2. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

3. 収益及び費用の計上基準

営業収益は、原則として業務提供の進行に応じて計上しております。

但し、事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められない案件については、成果が確実と認められた時点で営業収益を計上しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

税抜方式

II 株主資本等変動計算書に関する注記

1 発行済株式の数に関する事項

株式の種類	普通株式
発行済株式数	1,300株

III 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。